

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第2区分
 【発行日】平成21年8月20日(2009.8.20)

【公表番号】特表2009-500314(P2009-500314A)
 【公表日】平成21年1月8日(2009.1.8)
 【年通号数】公開・登録公報2009-001
 【出願番号】特願2008-518963(P2008-518963)
 【国際特許分類】

A 6 1 K 38/00 (2006.01)
 A 6 1 K 45/00 (2006.01)
 A 6 1 P 43/00 (2006.01)
 A 6 1 P 35/00 (2006.01)
 C 0 7 K 7/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 37/02 Z N A
 A 6 1 K 45/00
 A 6 1 P 43/00 1 0 5
 A 6 1 P 35/00
 A 6 1 P 43/00 1 2 1
 C 0 7 K 7/00

【手続補正書】

【提出日】平成21年6月25日(2009.6.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

異常な細胞分裂が起こる障害を処置または予防するための剤であって、アミノ酸配列(I)

$Y_1 X_1 X_2 X_3 W X_4 X_5 X_6 X_7 X_8 Y_2$ (I)

を含むペプチドを含み、式中、

X_1 はWであり；

X_2 はYであり；

X_3 はPであり；

X_4 はM、I、VまたはLであり；

X_5 はKまたはRであり；

X_6 はKまたはRであり；

X_7 はHまたはIであり；

X_8 は1つ以上のアミノ酸であるかまたは不在であり；そして

Y_1 および Y_2 は各々不在であるかまたは(Arg)₉のいずれかであり、その結果、 Y_1 および Y_2 のうちの少なくとも1つが存在する、

前記剤。

【請求項2】

該ペプチドの少なくともN末端アミノ酸およびC末端アミノ酸がD型立体配座にある、請求項1に記載の剤。

【請求項3】

前記配列 $X_1 \sim X_8$ が W Y P W M K K H H または W Y P W M K K H H R である、請求項 1 または 2 に記載の剤。

【請求項 4】

前記ペプチドが配列：

W Y P W M K K H H R R R R R R R R R R R

を有する、請求項 1 または 2 に記載の剤。

【請求項 5】

前記障害が癌である、請求項 1 ~ 4 のうちのいずれか 1 項に記載の剤。

【請求項 6】

前記細胞が 1 種以上の H o x 遺伝子を発現する、請求項 1 ~ 4 のうちのいずれか 1 項に記載の剤。

【請求項 7】

前記細胞内で P B X が癌遺伝子として作用しない、請求項 1 ~ 4 のうちのいずれか 1 項に記載の剤。

【請求項 8】

細胞傷害剤または化学療法剤をさらに含む、請求項 1 ~ 7 のうちのいずれか 1 項に記載の剤。

【請求項 9】

前記処置または予防が、細胞傷害剤または化学療法剤を投与する工程をさらに含む、請求項 1 ~ 7 のうちのいずれか 1 項に記載の剤。

【請求項 10】

請求項 1 ~ 4 のうちのいずれか 1 項に記載のペプチドを含む、細胞傷害剤または化学療法剤の副作用を低減するための剤。

【請求項 11】

請求項 1 ~ 4 のうちのいずれか 1 項に記載のペプチドと幹細胞とを接触させる工程を包含する、該幹細胞をエクスピボで維持または拡大する方法。

【請求項 12】

請求項 1 ~ 4 のうちのいずれか 1 項に記載のペプチドおよび薬学的に許容可能なキャリアを含む、医薬組成物。

【請求項 13】

さらに細胞傷害剤または化学療法剤を含む、請求項 1 2 に記載の医薬組成物。